

第6回一ノ宮用水生きもの調査速報

西田一也（東京農工大学非常勤講師）

1. 目的

2015年9月21日（月、祝）午後に一ノ宮用水において、1）一ノ宮用水に生息する水生生物相の把握、2）これまでに行われた水路改修が生き物と水路環境に与える影響の把握を目的に、15名によって調査を行った。

2. 結果と考察

17種類 1026個体の生き物が採集された（表1）。クロダハゼ、サカマキガイは今回の調査で初めて確認された。工事完了直後の1年前（2014年9月）の調査と同程度に採集されており、改修後の回復が安定していると考えられる。ただし、木杭護岸区間I3の物理的環境条件は単調なようにみえる。また、橋下区間I2ではほとんど採集されず、夏季の利用は少ないことが窺えた。なお、コカナダモの生育が例年より少なかった。I1ではカワリヌマエビ属、ドジョウ、ギンブナ、I2ではコオニヤンマ、I3ではオイカワ、シオカラトンボのヤゴ、アメンボ、I4ではタモロコが多いなど、狭い範囲にもかかわらず種組成が異なっていた。この違いは各区間の物理的環境条件の違いを反映していると考えられる。

表1 水生生物の採捕個体数

No.	種類名	I1	I2	I3	I4	合計	備考
1	ギンブナ	23	1	16		40	
2	オイカワ	5	1	46	2	54	
3	タモロコ	15		12	33	60	国内外来種？
4	カマツカ	1				1	都・準絶滅
5	ドジョウ	26		17	17	60	国・情報不足種
6	クロダハゼ	1				1	旧トウヨシノボリ
	不明魚類	1				1	
7	シオカラトンボヤゴ	2	2	26	19	49	
8	コオニヤンマヤゴ		1			1	
9	アメンボ	1		18		19	
10	アメリカザリガニ	1			3	4	国外外来種
11	カワリヌマエビ属	446	1	39	242	728	外来種
12	シジミ類				2	2	台湾ンシジミ？
13	カワニナ類				2	2	
14	サカマキガイ			1		1	国外外来種
15	ヒル類	1				1	
16	トウキョウダルマガエル			2		2	国・準絶滅危惧種
17	ニホンアマガエル	+				+	キショウブ上で目視